



千代田化工建設  
グループCSR報告書 2008



## 発行に際して

千代田グループのCSR活動は、国内外において本業を通じて実践されています。活動内容についてはWebサイトで紹介していますが、本報告書を通じて、さらにステークホルダーの皆様との対話を深めていきたいと考えています。今後も、皆様の率直なご意見やご感想を、私たちの活動に反映していきたいと考えていますので、アンケート用紙をご利用いただき、ぜひご意見をお寄せください。

### • ダイジェスト化

本報告書では、2007年度活動の主な実績を中心としてハイライトし、CSRビジョンに沿って紹介しています。これらの取り組みの詳細および関連する制度・仕組みなどについては、当社のWebサイトをご参照ください。

### • 特集 千代田グループならではのCSR

千代田グループは、1948年の創立以来、各国の産業、社会の発展に貢献し、総合エンジニアリング企業として成長してきました。この間、変わることなく受け継がれてきた私たちのCSRに対する考え方が総合的に反映されている活動に焦点を当てた特集を、「千代田グループならではのCSR」として紹介しています。

## 目次

### 企業紹介

|          |   |
|----------|---|
| 会社概要     | 1 |
| トップメッセージ | 2 |

### 特集 千代田グループならではのCSR

|  |   |
|--|---|
| サハリンLNGプロジェクトにおける<br>千代田グループの国際貢献      | 4 |
| 国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」<br>における千代田グループの貢献 | 6 |

### CSRビジョンに沿った活動紹介

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 本業と社会との関わり            | 8  |
| 千代田グループCSRビジョン        | 9  |
| CSRビジョンI～信頼される企業      | 10 |
| CSRビジョンII～環境への取組      | 12 |
| CSRビジョンIII～事業を通じた社会貢献 | 14 |
| CSRビジョンIV～人の尊重        | 16 |
| CSRビジョンV～公明正大な企業運営    | 18 |
| 業績ハイライト(2007年度)       | 20 |
| 第三者評価                 | 21 |

## Webサイトのご案内



<http://www.chiyoda-corp.com/>

千代田化工

### 報告の対象範囲

特に注記していない限り、千代田グループ(千代田化工建設および国内連結子会社7社)の状況を掲載しています。

### 報告の対象期間および発行

報告対象期間：2007年度(2007年4月1日～2008年3月31日)  
発行月：2008年7月

### ガイドライン

「the Global Reporting initiative's guidelines (the new G3 guidelines)」、および「環境報告書ガイドライン2003」(環境省)を参考にしています。

## 私たちは、世界を舞台に エンジニアリング事業を展開しています。

千代田化工建設株式会社は、1948年に従業員20名ほどの規模のエンジニアリング企業として誕生しました。2008年3月現在、千代田グループは、千代田化工建設および連結子会社16社、持分法適用関連会社5社により構成され、日本国内および海外各地において、各種プラント・施設の設計・建設を主要事業とする総合エンジニアリング企業として成長してきました。

### 会社概要 (2008年3月31日現在)

- 社名： 千代田化工建設株式会社 (CHIYODA CORPORATION)
- 主なオフィス： 横浜本店 (横浜市鶴見区)  
子安オフィス・リサーチパーク (横浜市神奈川区)
- 資本金： 433億89百万円 (2008年4月30日現在)
- 主な事業内容： エネルギー、化学、医薬品、バイオ、環境分野等の各種プラント・施設に関するコンサルティング、計画、設計、調達、建設、試運転、運転・保全管理コンサルティング/トレーニング、研究開発・技術サービス、プロジェクトマネジメント
- 連結業績：
 

|                  |         |
|------------------|---------|
| 受注工事高            | 2,587億円 |
| (2008年3月期) 完成工事高 | 6,035億円 |
| 経常利益             | 191億円   |
| 当期純利益            | 96億円    |
| 受注残高             | 6,700億円 |
| 従業員数             | 3,067名  |
- URL: <http://www.chiyoda-corp.com/>



私たちはグループの力を結集して事業を進めています。



**千代田工商株式会社**  
国内エネルギー・化学関連プラントの設計・建設・メンテナンス、損害・生命保険代理業



**千代田アドバンスト・ソリューションズ株式会社**  
プラント・産業施設運転の高度解析・ソリューション提供、宇宙利用のコンサルティング



**千代田計装株式会社**  
電気・計装・制御・FAシステム関連設備の設計・建設・保守



**アロー・ビジネス・コンサルティング株式会社**  
財務・会計・税務の総合コンサルティング



**千代田テクノエース株式会社**  
研究所、医薬品・食品プラント、物流施設の設計・建設およびコンサルティング



**アロー・グローバル株式会社**  
出張・赴任等旅行業、資材輸出・航空運送代理業




**千代田ユーテック株式会社**  
各種産業設備の事業化計画およびコンサルティング



**千代田化工建設株式会社**

## トップメッセージ



グループ企業理念、  
グループCSRビジョンに基づき、  
CSRをしっかりと推進していきます。

### 創立60周年を迎えて

#### 千代田グループ企業理念

当社グループは、総合エンジニアリング企業として、英知を結集し研鑽された技術を駆使して、事業の充実を図り、持続可能な社会の発展に貢献する。

#### 千代田グループCSRビジョン

- I. 信頼される企業
- II. 環境への取組
- III. 事業を通じた社会貢献
- IV. 人の尊重
- V. 公明正大な企業運営

千代田化工建設は、本年1月17日に創立60周年を迎えました。

当社の創業者である故・玉置明善氏が創業当時より強調され、そして今日まで脈々と引き継がれている当社のDNAとでも言うべきキーワードは、「人材」、「技術と信頼」、「国際社会への貢献」の3点です。

特に、「技術と信頼」ですが、「エネルギー関連を基軸とする高度な技術力」、そしてプラント建設の実績とそこに携わる役職員の努力によって築かれたお客様との「友好関係と信頼」は、当社グループの強みであり、コアコンピタンスです。

私は昨年4月に社長に就任した際、「<sup>けいおう かいらい</sup>継往開来<sup>けいおう かいらい</sup>」\*という言葉掲げて、先人の築いてきた資産を受け継ぎ、それを時代の要請に合わせて活用・展開し続け、未来を切り拓きつつ次の時代に継承していくことが使命と申し上げました。

当社グループは今後とも、「技術と信頼」という創業以来のDNAを引継ぎ、「国際社会への貢献」という使命を果たすべく、Reliability No.1 Project Companyとして、役職員一同、力を合わせて頑張っている所存です。

\*「継往開来」とは、水戸光圀公より引き継がれてきた「水戸学」の理念を表したもので、徳川慶喜公の命名に依る。



GASTECH2008(タイ)にて (2008年3月)



千代田グループ 夏祭りにて (2007年7月)

## 千代田グループの企業理念と社会的責任(CSR)



### 世紀を超えた千代田グループの 遺伝子(DNA)

1972年に人類の発展と自然調和を提唱する小冊子『21世紀への遺産』を発行し、エネルギーと環境問題を解決するための技術開発に取り組むことを宣言。現在もこの精神は千代田人に引き継がれ、千代田グループの技術のバックボーンとなっています。『21世紀への遺産』の全文については、当社Webサイトをご覧ください。

「当社グループは、総合エンジニアリング企業として、英知を結集し研鑽された技術を駆使して、事業の充実を図り、持続可能な社会の発展に貢献する」と言うグループ企業理念に基づき、株主、顧客、取引先、従業員、地域社会など、すべてのステークホルダーから信頼と共感を得る企業グループを目指しております。

企業は社会の一員であり、それにふさわしい行動をとる必要があるとの認識から、1972年に、故・玉置明善氏は『21世紀への遺産』というパンフレットをつくり、まだCSRという言葉が注目されるようになる以前から、エネルギーと環境問題を解決するための技術開発に取り組むことを宣言致しました。

当社グループは、「千代田グループCSRビジョン」※を定め、総合エンジニアリング企業として、今後ともCSRをしっかりと推進してまいります。

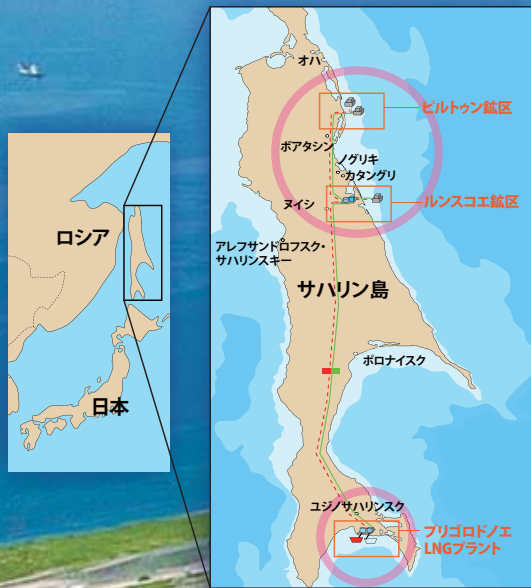
2008年7月

代表取締役社長 久保田 隆

※ 「千代田グループCSRビジョン」は本報告書9～19ページをご参照ください。

## 特集 千代田グループならではのCSR

# サハリンLNGプロジェクトにおける 千代田グループの国際貢献



サハリンLNG(液化天然ガス)プロジェクトは、サハリンエナジー社から委託を受け、ロシアのサハリン島に、年産480万トン、2系列のLNGプラントと原油出荷基地を建設するプロジェクトです。ロシア初となるLNGプラント建設であり、同時に、契約当初から地域貢献や環境保全、とりわけ安全への対応という重要なミッションを担った、千代田にとって意義深いプロジェクトです。

## 安全への対応

サハリン島の気温は、最も寒い1月、2月には氷点下20度以下の日が続きます。想像を絶する寒さの中、作業中の低体温症や凍傷対策を徹底して、作業を安全に遂行できる体制を整えています。

また、サイトでは世界各国から数千人の労働力が結集されているため、各国・各人種の人たちが安全・安心な生活が送れるような万全な体制を敷いています。

さらには、交通事故率が高いサハリン島において、キャンプ内でのサブコントラクターを交えた安全イベントの開催や、現地交通警察退職者を採用した交通取り締まりを実施することで、2,000万時間の無災害記録を達成しています。



Shell CEOからの表彰状  
(本報告書21ページの「第三者評価」もご参照ください)

## 地域への貢献

このプロジェクトは、契約当初から、地元の継続的な自立発展を目的としてSD (Sustainable Development) 活動を推進しています。地元の人的資源の活用では、若手エンジニアの養成や、地元の職業訓練校と共同での溶接技術のトレーニングスクールを開設したほか、現地トレーナー育成のための日本での研修や現地の大学生のインターンシップを行うなど、人材育成・雇用促進を通じて地域経済の発展に貢献し、工事最盛期には約5,000人を超えるロシア人(そのうち3,000人超は地元住民)を雇用しました。

その他、地元のコルサコフ市民との定期的な会合で協議・合意し、地元住民のニーズに合った社会貢献活動を行っています。警察と共同による交通安全対策やキャンペーン実施のほか、幼稚園・養老園・病院・小学校・図書館・文化会館の設備改善や、カラフトマス養殖場の設備改善支援などの支援活動を実施してきました。また、地元住民や小中学生向けの建設現場見学会の定期的な開催、除雪作業協力を含む道路のメンテナンスや清掃活動を実施しています。



溶接技術のトレーニングスクール



若手エンジニアの養成



環境モニタリング(鳥の生息調査)



河川・海上汚染防止

## 環境保全活動

環境に対する要求が多岐にわたるほか、すべての要求事項が従来のプロジェクトの遂行手法ではまったく対応できないことから、独立した組織を構築し、環境保全を最大限強化して推進していることもこのプロジェクトの特徴です。

厳しい環境保全要求に対処するため、現場内のすべての雨水や泥水を浄化排水するための貯水池・沈殿池の設置や、建設工事終了エリアに緑化を施して原状回復に努めるなどのさまざまな対策を行い、環境アセスメントに基づく各種モニタリングと官庁への報告を行っています。

千代田グループのこうした活動は、ロシア政府からも他のプロジェクトの模範であると高く評価されています。

## 特集 千代田グループならではのCSR

# 国際宇宙ステーション日本実験棟 「きぼう」における千代田グループの貢献



### 研究者の夢が宇宙に届きました。

地上400km上空の宇宙空間に浮かぶ、国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」では、人類の未来へ向けての科学実験が始まろうとしています。

私たちは、エンジニアリング力とプロジェクト・マネジメント力を結集し、高い信頼性と安全性が要求される宇宙で、研究者の夢を実現する実験装置の開発を行いました。

私たちは、宇宙でもReliability No.1と社会貢献に向けてチャレンジを続けます。



## 日本実験棟「きぼう」の建設ミッション

2008年3月13日、スペースシャトルが国際宇宙ステーションにドッキングするところです。スペースシャトル貨物室には、日本の実験棟「きぼう」補給部の円筒形の姿が見えます。このフライトで、宇宙航空研究開発機構(JAXA)より委託を受け、千代田アドバンスト・ソリューションズ(ChAS)が開発した2種類の実験装置が、「きぼう」補給部とともに宇宙に届けられました。



国際宇宙ステーションから見たスペースシャトル  
(提供NASA)※1

## 「生物実験ユニット」:未来に貢献する小さな箱

「生物実験ユニット」は、「きぼう」の中で細胞の培養実験や植物の生育実験などを行うために開発された、自動化・小型化を追求した実験装置です。

宇宙特有の微小重力環境における生命科学現象の解明は、将来の再生医療などの高度医療の発展や、食料生産技術の革新に貢献することが期待されます。

人類が将来に向けて引き継いでいく科学の解明——私たちは、この科学者の夢のひとつを小さな箱型の装置として、「かたち」にしました。



「生物実験ユニット」内植物  
(提供JAXA)



ChASメンバーの写真

## 「画像取得処理装置」:実験画像の通信ターミナル

「きぼう」の中で行われる実験で、最も重要なデータのひとつが画像です。さまざまな実験装置の画像データは、この装置で収集・録画・圧縮されて、地上の研究者のもとへ送られます。この装置は情報技術(IT)・マルチメディア技術を駆使した通信ターミナルです。

画像を通じて、宇宙から見つめる地球の姿は、変化に富んだ地上環境の動きを雄弁に物語ります。私たちは、画像通信技術を通じて、宇宙と地球の情報の架け橋として貢献しています。



「画像取得処理装置」  
(提供JAXA)



宇宙から見たハリケーン  
(提供NOAA)※2

## 「果てしない夢への貢献」

宇宙開発は、現在の地球軌道上から、十数年後には月面基地建設に向かいます。さらに将来は火星へと、果てなく夢が広がっていきます。

宇宙開発は人類の活動領域を拡大し、科学を発展させるとともに、有限な地球の環境・資源問題に新たな解決策を提示するなど、さまざまに展開していくことが期待されます。

私たちは、先端エンジニアリング力を駆使し、今後の宇宙開発で必要とされる多様な施設や装置の開発を通じて、果てしない夢への貢献にチャレンジします。



月面基地構想 (提供JAXA)

※1 NASA:米国航空宇宙局 ※2 NOAA:米国海洋大気庁

## 本業と社会との関わり

# 私たちは、本業を通じて社会と地球環境に貢献しています。



鹿島アロマティックス(株)向け石油化学プラント

**経済の  
持続的発展**

石油製品、石油化学製品、医薬品、食品などを生産するプラントの建設を通じて「経済の持続的発展」に貢献しています。



インドネシア向け天然ガスプラント

**エネルギー  
安定供給**

石油、LNGなどの各種エネルギーを生産・供給するプラントの建設を通じて「エネルギーの安定供給」に貢献しています。

### 本業を 通じた 4つの貢献

**地球環境**



ロシア向けLNGプラント

クリーンなエネルギーの供給、省エネルギー、大気汚染防止、排水処理のプラントの建設を通じて「地球環境」に貢献しています。



宇宙から見た地球 (提供NASA)

**社会の  
持続的発展**

「エネルギー」、「環境」、「経済」に加えて、科学技術の発展やプラント建設国への技術移転、雇用機会の拡大を通じて「社会の持続的発展」に貢献しています。

私たちは、1948年の創立以来、日本のエンジニアリング産業のパイオニアとして、日本国内はもとより世界40数カ国で石油、LNG、化学などのプラント・施設的设计・建設を行い、現在の国際社会が抱える「エネルギー」、「環境」、「経済」、「社会」という課題の解決に貢献してきました。

私たちの本業そのものが、社会と地球環境への貢献活動です。

# Chiyoda's CSR vision

私たちのCSR、  
それは企業理念を実現することです。

私たち、千代田グループは総合エンジニアリング企業として、以下を継続的に推進することにより企業価値を高め、全てのステークホルダーから信頼と共感を得る企業であり続けるよう努めます。

## 信頼される企業

世界トップクラスの技術と知見の提供により、お客様をはじめ取引先からReliability(信頼性)No.1と評価される企業となるよう努めます。

10ページ

## 環境への取組

研鑽された技術を駆使して、地球環境と、経済・社会活動の調和を図り、社会にとってかけがえのない企業であり続けるよう努めます。

12ページ

## 事業を通じた 社会貢献

国内・海外のエンジニアリング事業の遂行を通じ、人材育成、技術移転、環境保護等地域社会への貢献に努めます。

14ページ

## 人の尊重

全ての人々の人権を尊重します。従業員の個性・人格を尊重し、従業員とその家族が誇りを持てるような働きやすく、働きがいのある企業風土作りに努めます。

16ページ

## 公明正大な 企業運営

常に高い倫理観に基づいて公正な事業を営み、透明性と安定性を高めるよう努めます。

18ページ

## 千代田グループCSRビジョン

# Chiyoda's CSR vision



## 信頼される企業

千代田グループは、取引先と協力し

- ・最新の技術を提供し、
- ・お約束した納期を守り、
- ・工事での災害をなくし、

お客様の満足と信頼が得られるプラントを建設することにチャレンジしています。

## CSR中期活動目標

- ・ Reliability No.1 技術による、お客様の満足を得る高品質なプラントの提供
- ・ 機器・資材の提供先、建設工事の協力会社など取引先とのCSR理念の共有



### 2006年8月 工事開始前の建設現場

安全かつ超短期間で工事を完成させるため、設計・機器・機械・資材の調達・建設現場搬入、工事遂行といったあらゆる角度からスケジュールの点検と検討が定期的に行われました。



### 建設現場の関係者

2005年8月 契約調印と同時に、新しい技術の内容の詳細な検討、情報技術 (IT) を駆使した設計が始まりました。



### 安全ポスター

目立つように手書きでつくられ、建設現場のいたる所に貼られました。



**2006年10月**

建設工事が開始されました。



**2007年2月**

機器や機械の据付が順調に進んでいます。



**2007年6月**

主な機器や機械が設置されました。

## Reliability No.1 Project Company

### 鹿島アロマティックス(株)向け RIPE-X プラント建設プロジェクト でのチャレンジ

鹿島アロマティックス(株)向けの、石油からポリエステルなどの合成繊維・樹脂の原料となるキシレンなどを製造する、石油化学プラントの建設プロジェクトです。

このプロジェクトは、千代田工商・千代田計装・千代田テクノエースの協力を得て、千代田グループが一丸となって取り組みました。

製造技術はフランス、米国、ドイツの一連の技術が組み合わせられたもので、日本では第一号となる技術です。

プロジェクトの全期間は25カ月、工事期間は12カ月と、この規模のプラントとしては極めて短いものでしたが、工期内に完成させることができました。

このプラント建設工事では、114万時間の無災害記録を達成しました。



**2007年9月 プラント完成**

プロジェクト開始から25カ月、最新鋭技術によるプラントは無事完成し、お客様に引き渡されました。

プラント建設中にも、次のReliability No.1に向けて、お客様満足度調査などを実施し、以降の建設活動に反映させました。



### 工事安全集会

建設工事の最盛期を迎え、朝一番に工事関係者全員が集まり、毎日その日の工事での安全を確認します。

## 千代田グループCSRビジョン

# Chiyoda's CSR vision II



## 環境への取組

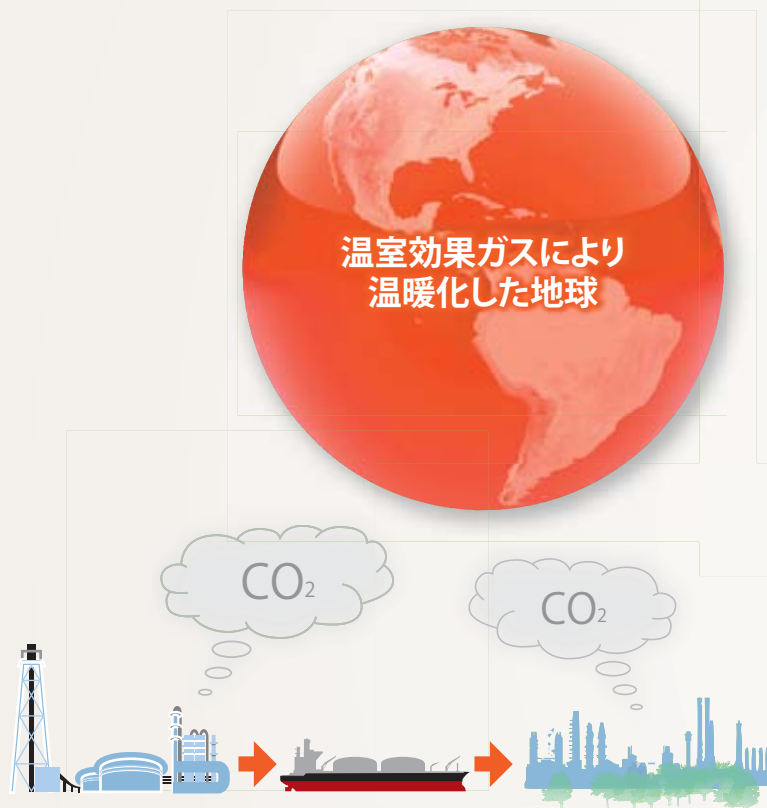
これまでに培った環境技術のみならず新規技術にも挑戦し、地球温暖化抑制に貢献します。

オフィスにおいてもエコオフィスの実現を目指し、温室効果ガス排出低減のみならず廃棄物削減に努力しています。

### CSR中期活動目標

- ・ 環境に優しいエネルギー技術、環境保全技術の開発、提供
- ・ 環境保全技術に寄与する企業活動

## 地球温暖化抑制に向けた取り組み



現在、温暖化の主要因であるCO<sub>2</sub>が世界の化石燃料生産国と消費国の双方で年間250億トン以上排出されています。

当社は、CO<sub>2</sub>を大気放出している炭素資源(化石燃料など)の生産・利用工程を再構築(リエンジニアリング)し、CO<sub>2</sub>回収、貯留・再利用を含めたCO<sub>2</sub>排出抑制のソリューションを提供することで、地球温暖化抑制に貢献します。

リエンジニアリングの例として、現状では直接燃焼することが多い石炭などをガス化し、CO<sub>2</sub>を除去した後に燃焼することで、CO<sub>2</sub>発生の低減を図ることが挙げられます。

### オフィス活動での取り組み

省エネルギー設備の導入などにより、当社の完成工事高(売上高)当たりの温室効果ガス排出量は低減しています。

また、一般廃棄物量についても、ごみ分別およびリサイクルの徹底により、年々低減しています。

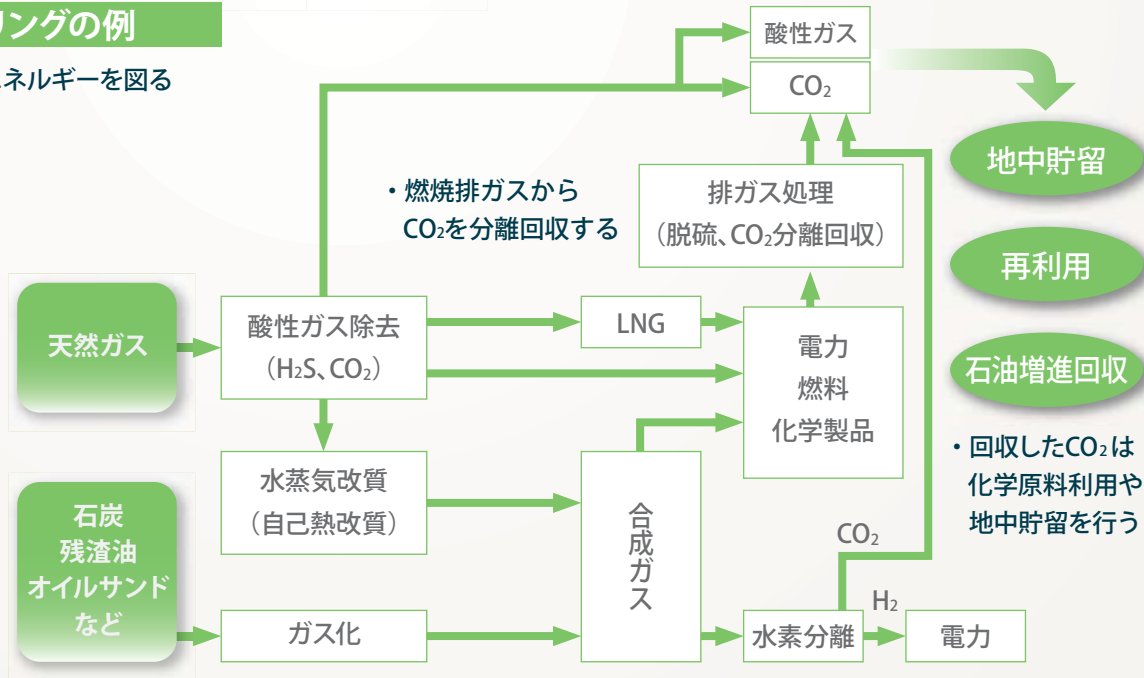


### リエンジニアリングの例

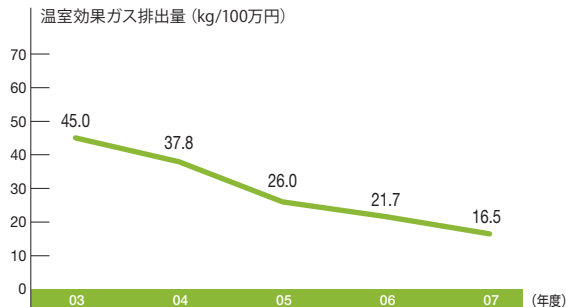
・設備全体の省エネルギーを図る

・天然ガスからCO<sub>2</sub>を分離回収する  
(当社は多くの実績あり)

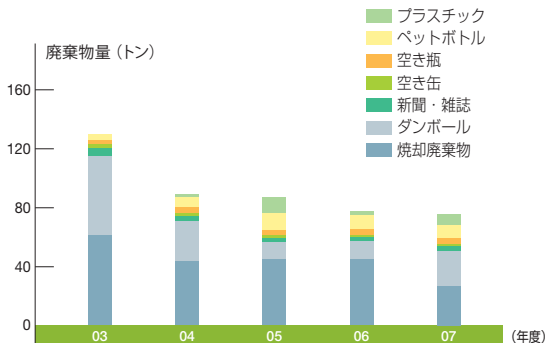
・石炭などをガス化してCO<sub>2</sub>を分離回収し、  
水素主体の燃料でCO<sub>2</sub>の発生が少ない発電を行う



完成工事高当たり温室効果ガス(主にCO<sub>2</sub>)排出量



一般廃棄物排出量の推移



## 千代田グループCSRビジョン

# Chiyoda's CSR vision



## 事業を通じた社会貢献

国内・海外のエンジニアリング事業の遂行を通じ、人材育成、技術移転、環境保護など、地域社会への貢献に努めます。

### CSR中期活動目標

- 総合エンジニアリングの本業を通じた社会への貢献活動の整備
- 知力、労力の提供による社会貢献活動の充実



### 教員研修

教員10名の方に対し、3D CAD (3次元図面作成システム) 操作体験などの民間企業研修を実施しました。また、横浜市の副校長42名の方に対し、組織運営などの体験学習を実施しました。



### 高校生職場体験ほか

写真は、高校生による職場体験プログラム (1名参加) の様子です。このほかに、下記の活動を行いました。

- 当社グループ役職員を講師として大学に延べ9名派遣
- インターンシップとしてグループ全体で大学生、大学院生合わせて21名受け入れ





### 海外における社会貢献活動

海外各地のグループ会社において、さまざまな社会貢献活動を行っています。写真は、L&T-Chiyoda(インド)での、従業員による献血の様子です。



### 国内建設現場における社会貢献活動

鹿島石油(株)のCSR活動であるペットボトルキャップ収集に当社も協力し、15,000個を寄贈しました。これらのキャップは、子供たちのワクチン購入資金の一部となります。

## 2007年度 社会貢献活動

※ 特集「千代田グループならではのCSR」(本報告書4~7ページ)も合わせてご参照ください。



### 鶴見クリーンキャンペーン

本社所在地(横浜市鶴見区)の地元自治会が年2回主催する「クリーンキャンペーン」(地域清掃活動)に、延べ164名のグループ従業員とその家族がボランティアとして参加しました。



### 環境授業

本社所在地に近い、子安小学校4年生約120名、鶴見小学校5年生約110名に対し、石油資源の大切さと環境保全をテーマに環境授業を行いました。

## 千代田グループCSRビジョン

Chiyoda's  
CSR  
vision IV

## 人の尊重

全ての人々の人権を尊重します。従業員の個性・人格を尊重し、従業員とその家族が誇りを持てるような働きやすく、働きがいのある企業風土作りに努めます。

## CSR中期活動目標

- ・活力に溢れた組織風土作りと人材育成の実現
- ・重大災害ゼロの実現

※1 度数率とは、100万延べ労働時間当たりの労働災害による被災者数により、災害発生の頻度を表したもの。

$$\text{度数率} = \frac{\text{被災者数(除不休)}}{\text{延べ労働時間}} \times 1,000,000$$

※2 強度率とは、1,000延べ労働時間当たりの休業日数により、災害の重篤度を表したもの。

$$\text{強度率} = \frac{\text{休業日数}}{\text{延べ労働時間}} \times 1,000$$

## 安全文化の確立

## この1年の取り組み

2007年1月より、当社グループ全体として、安全文化の確立と定着に向けた取り組みを強化しました。

安全大会の開催、HSE(健康・安全・環境)短信の発行、ポスターの掲示など、相互啓発型の安全文化を構築すべく啓発活動を継続しています。

2007年度の、当社の建設現場における死亡事故は、国内外とも前年度に比べ、延べ労働時間が大幅に増加(前年度比67%増)したにもかかわらずゼロでした。また、度数率※1(同50%減)、強度率※2(同94%減)ともに前年度より改善することができました。



安全大会で挨拶する久保田社長

## 働きがいのある職場環境

## 充実した休暇制度

## ボランティア休暇

2008年4月より、従業員のボランティア活動について、年1回連続10日を限度に年次有給休暇が利用できるようになりました。

## 働きやすい職場 ― 育児・介護休業

育児休業については、乳児が1歳半になるまで休業できます。2007年度は1名が取得しました。介護休業については、家族の介護のために通算1年間にわたり取得でき、制度発足以降4名が利用しました。

## 人材育成制度の充実

当社の人材育成は、個人のプロフェッショナル化と組織マネジメント力強化を目的として、業務を通じたトレーニングと、業務を離れた座学などによる研修を中心に、教育体系を構築しています。



研修風景

### CDP (キャリア・ディベロップメント・プログラム)

個人のプロフェッショナル化を実現する制度がCDPです。入社15年目までの従業員を対象に、3年ごとに本人が適性やキャリアの自己分析を行って、進むべき方向を上司と見極め、ニーズに合ったキャリア開発を会社が支援します。

### PKP講座 (プロジェクト・キー・パーソナル講座)

プロジェクト遂行の中核となる人材の育成と、プロジェクト・マネジメント力の強化を目指して、実務経験と専門知識を持つ部長クラスの幹部従業員が講師となり、受講者との対話を重視した「考える講義」を行っています。

## 外国人従業員の積極起用

### 料理を介した国際交流

当社では、グローバルネットワークを通じて、海外の拠点から派遣された外国人エンジニアが83名勤務しています。

当社の海外プロジェクト遂行に尽力するだけでなく、余暇を活用して「保土ヶ谷国際交流会」に参加し、地域住民との国際交流を深めています。

2007年12月と2008年1月に、外国人エンジニアが講師となって、料理講習会を開催しました。



## 健康管理

### メンタルヘルス

当社はメンタルヘルス対策に特に力を入れており、メンタル専門の産業医を選任しています。

全従業員を対象に毎年ストレスチェックを行うとともに、2008年3月にはカタールの建設現場へ専門医9名を派遣し、日本人赴任者約300名に対してカウンセリングを実施しました。

## 千代田グループCSRビジョン

# Chiyoda's CSR vision



## 公明正大な企業運営

常に高い倫理観に基づいて公正な事業を営み、  
透明性と安定性を高めるよう努めます。

### CSR中期活動目標

- ・法令順守の徹底と透明性ある企業活動
- ・リスク対応の徹底

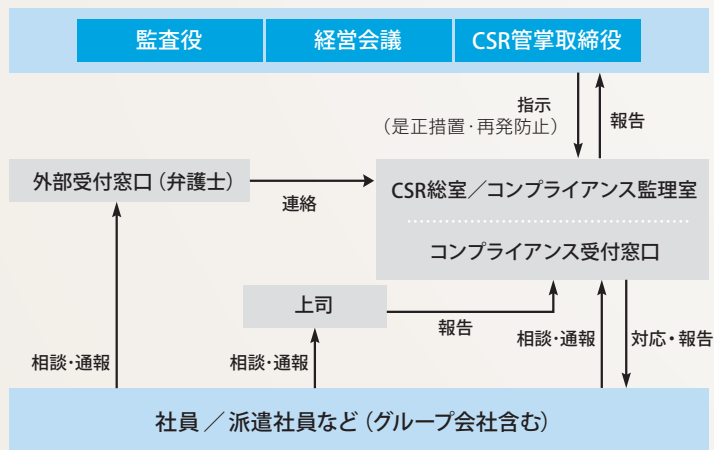
## CSRハンドブックの発行

2007年10月に、当社グループの企業理念、CSRビジョン、  
役職員の行動規範をとりまとめたCSRハンドブック  
(ブルーブック)を発行し、国内外の当社グループに勤  
務する全役職員に配布しました。また、2008年3月には、  
グループ会社に勤務する外国人従業員向けに英語版を  
配布しました。



## コンプライアンスの取り組み

### コンプライアンス相談通報制度



### 2007年度通報実績

|             |    |
|-------------|----|
| ① 職場環境の改善関連 | 3件 |
| ② 就業規則の順守関連 | 5件 |
| ③ 注意喚起の要望   | 3件 |
| ④ その他       | 3件 |

合計 14件

## 情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の 国際規格第三者認証を取得

当社は、2007年12月に、情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の国際規格、ISO/IEC 27001:2005 (JIS Q 27001:2006) の第三者認証を取得しました。

対象範囲は、研究開発を含むエンジニアリング、プロジェクトマネジメント、調達および関連業務、一般管理業務など本社業務全般であり、全社レベルでの認証取得は、日本のエンジニアリング業界としては初めてとなります。

引き続き、ISMSの一層の浸透、情報セキュリティ教育の充実など、全役職員参加による情報セキュリティマネジメント文化の確立・定着を図っていきます。



ISO/IEC 27001:2005の第三者登録証



弁護士による「コンプライアンス相談・通報」受付窓口担当の研修

### コンプライアンス教育・啓発活動

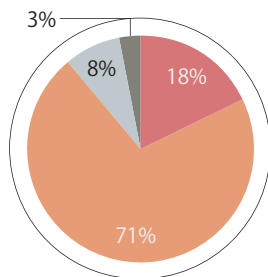
一般教育として、CSRハンドブック (ブルーブック) の内容理解を深めるために、当社グループで独自にeラーニング教材を開発し、グループ役職員に確認テスト (コンプライアンスクイズ) を実施しています。受講者総数は2008年7月現在で1,100名を超えており、今後も順次受講促進を継続していきます。

また専門教育として、建設業法、下請法、独占禁止法など当社グループの事業に関係する法令については、担当部署メンバーを対象にして、弁護士による講義、教材による注意喚起、定期的な内部監査などにより、順守事項の再確認を行っています。

より詳しい情報は、当社のWebサイトをご参照ください。 <http://www.chiyoda-corp.com/>

## 業績ハイライト(2007年度)

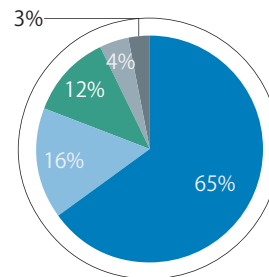
### 地域別構成比



### 完成工事高

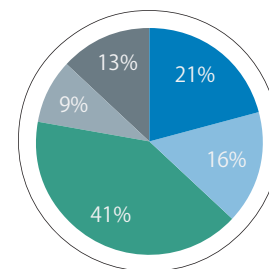
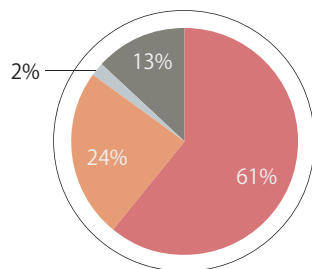
連結完成工事高  
6,035億円

### 分野別構成比



### 受注工事高

連結受注工事高  
2,587億円



### 千代田グループの中期経営計画

千代田グループは「収益成長企業」を目指すため、2005年度(2006年3月期)～2008年度(2009年3月期)を対象とした中期経営計画「ダブル・ステップアップ・プラン2008※」(DSP2008)を推進しています。DSP2008を確実に実行し、企業価値のさらなる向上を目指して「継往開来」を標語とし、受注した工事の確実な遂行と安全文化の確立に注力して事業活動の継続を図り、さらに飛躍を図るために次なる戦略の播種を展開しています。

※「Reliability No.1プロジェクト・カンパニー」、「収益力成長型エクセレント・カンパニー」へのダブル・ステップアップの実現を目指すことから、「ダブル・ステップアップ」という名称にしています。

### 三菱商事(株)との資本業務提携

当社は2008年3月31日開催の取締役会において、三菱商事(株)(以下「三菱商事」と)と資本業務提携に関する契約を締結することおよび、同契約に沿い、三菱商事を引受人として6,708万株の株式を発行することを決議しました。

#### <提携の目的>

今回の業務提携では、①当社と三菱商事が、プラント・エンジニアリング分野において機能統合し、両社の成長戦略を追求すること、②当社グループの企業理念の維持・発展を図ること、③競争力を総合的に高め、競合他社との差別化を図ることを目的としました。

#### <提携により実現を目指す経営ビジョン>

三菱商事との資本業務提携により目指すものは、「卓越した技術力を発揮し、安全文化の定着した Reliability No.1の総合エンジニアリング会社」を堅持し、「顧客のニーズに応え、エネルギー・資源・環境分野において、上流設備から下流設備まで一貫して手がける世界トップクラスの総合エンジニアリング会社」となるというものです。

## 第三者評価

### 2007年度の主な表彰

| 表彰   | 内容   |
|--|--|
| 地域経済振興：韓国／ウルサン市からの感謝碑                              | 当社の調達先として韓国への発注が急増しており、韓国企業と友好裏に仕事が遂行されたことなどが評価され、ウルサン市長より当社に感謝碑が授与されました。  |
| カタールガス社、コントラクター最優秀賞                                | カタールガス社主催の構内コントラクターの、安全意識高揚を目的としたフォーラムで、当社が参画する現場で設立したプログラムの効果が高く評価され、受賞しました。  |
| Shell CEO 2007 HSE Award<br>(HSE：健康・安全・環境)         | Shellグループ内の237件のプロジェクトの中で、当社がコントラクターとして参画するサハリンLNGプロジェクトが、2,000万時間の無災害記録を達成したことが評価され、受賞しました。<br>(本報告書4ページの特集「サハリンLNGプロジェクト」もご参照ください) |
| エンジニアリング振興協会<br>エンジニアリング功労者賞<br>(新日本石油精製(株)との共同受賞) | エンジニアリング振興グループ表彰として、「副生炭酸ガス冷熱分離回収統合利用技術開発プロジェクトチーム」の新日本石油精製(株)と当社が表彰されました。   |
| 日本設備管理学会<br>「ものづくり大賞(個人賞)」                         | 千代田工商の従業員が、顧客・メーカーと一体となった「圧力容器シンポジウム」および「メンテナンスエンジニアリングワークショップ」を通じて、長年にわたり技術の普及・継承に貢献したとして、ものづくりならぬ人づくりへの取り組みが評価され、受賞しました。           |
| (社)岡山県労働基準協会<br>「安全衛生優良表彰」「功績賞(個人)」                | 千代田計装の従業員による、長年にわたる労働安全衛生活動の推進が評価され、表彰されました。   |



地域経済振興：韓国／ウルサン市からの感謝碑



カタールガス社、コントラクター最優秀賞



(社)岡山県労働基準協会  
「安全衛生優良表彰」「功績賞(個人)」

### SRI(社会的責任投資)評価機関からの評価

#### ● FTSE 4 Good Index Series



2005年3月、Index Series FTSE社(英国)の著名な社会的責任投資指標「FTSE 4 Good」に、エンジニアリング会社として世界で初めて組み入れられました。当社が国際的に認められた一連の社会的責任(CSR)基準を満たす日本企業として、評価・認識されたものです。

#### ● モーニングスター(株)のモーニングスター社会的責任投資株価指数



2007年9月、当社はSRIインデックスの組成・管理を行っているモーニングスター(株)のSRIインデックスに組み入れられました。FTSE同様、日本のエンジニアリング会社で初の組み入れです。



## 千代田グループ・シンボルマーク

千代田化工建設創立60周年記念の一環として、グループ役員よりグループシンボルマークを公募し、左記のマークが採用されました。

千代田化工建設の現行シンボルマークをアレンジした上で、さらに“グループ”を示す“G”で囲み、現行シンボルマーク制定時の意義づけ(右上方へ伸びていく2つの逆三角形は、総意の結集、ハードウェアとソフトウェアを統合したシステムおよびブレークスルーを、中の白い丸はハートを表す)を踏襲しつつ、グループが一丸となりさらにグローバルに発展していくさまを表しています。また、ブルーは先進性と技術力を、グリーンはグローバル感と環境をそれぞれ表しています。

### 主要なグループ企業の事業内容(2008年3月31日現在)

#### エンジニアリング事業

##### 〈プロジェクト業務遂行〉

- 千代田工商株式会社(横浜市)
- 千代田計装株式会社(横浜市)
- 千代田テクノエース株式会社(横浜市)

##### 〈コンサルティング・人材派遣〉

- 千代田ユーテック株式会社(横浜市)

##### 〈先端エンジニアリング〉

- 千代田アドバンスト・ソリューションズ株式会社(横浜市)

##### 〈海外設計拠点(GES)〉

- 千代田フィリピン・コーポレーション(フィリピン)
- エル・アンド・ティー・千代田リミテッド(インド)

##### 〈海外プロジェクト業務遂行拠点〉

- 千代田シンガポール・プライベート・リミテッド(シンガポール)
- ピー・ティー・千代田インターナショナル・インドネシア(インドネシア)
- 千代田タイランド・リミテッド(タイ)
- 千代田マレーシア・センドリアン・ベルハッダ(マレーシア)
- 千代田&パブリック・ワークス・カンパニー・リミテッド(ミャンマー)
- 千代田ペトロスター・リミテッド(サウジアラビア)

##### 〈海外営業拠点〉

- 千代田インターナショナル・コーポレーション(米国)
- 千代田ナイジェリア・リミテッド(ナイジェリア)

#### その他の事業

- アロー・ビジネス・コンサルティング株式会社(横浜市)
- アローヘッド・インターナショナル株式会社(東京都港区)
- ITエンジニアリング株式会社(横浜市)
- 株式会社アローメイツ(横浜市)

### Webサイトのご案内



<http://www.chiyoda-corp.com/>

千代田化工

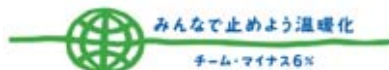
検索



千代田化工建設株式会社

〒230-8601 横浜市鶴見区鶴見中央二丁目12番1号

TEL 045-506-7535 FAX 045-506-6857



この冊子は再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しております。

